



コミュニティ助成事業で 発電機を整備しました

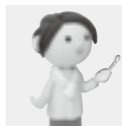
◎ 危機管理防災課 消防交通係 ☎(232)2110

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業を活用し、北新山区自主防災会に災害時などに使用できる発電機2台を整備しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの販売収益を財源として助成を行うものです。今後の北新山区自主防災会のますますの活性化が期待されます。



北新山区自主防災会に整備された発電機



社会教育委員の皆さんを紹介します

◎ 生涯学習課 生涯学習係 ☎(232)4917

社会教育委員は、社会教育法に基づいて設置され、社会教育に関して教育委員会に助言する役割を果たします。

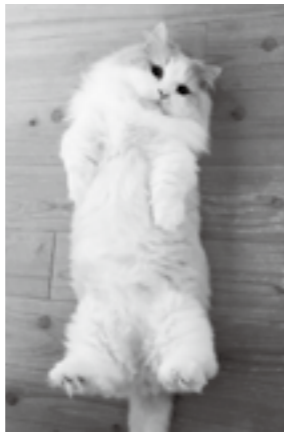
学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う人の中から、教育委員会が8人の委員を委嘱しています。任期は4月1日～令和5年3月31日の2年間で。

氏名	行政区など
しどう かずあき 紫藤 和昭	中尾
くぼた あきお 久保田昌生	南方
あべ かずみ 阿部香壽美	武2町内
うの こういち 宇野 功一	三里木
さかい めぐみ 酒井 恵	辛川
いでう えゆういち 井手上裕一	辛川
ふた すぐる 布田 俊	鉄砲小路
よしなが ひるのり 吉永 公紀	菊陽西小学校長



飼い主のいない猫の避妊去勢手術に 助成します

◎ 環境生活課 環境係 ☎(232)2114
◎ 菊池保健所 ☎0968(25)4135



菊池地域動物愛護推進協議会(菊池都市2市2町と獣医師会、保健所により構成は、飼い主のいない猫の避妊去勢手術へ一部助成を行います。

■募集件数・助成額

・猫の避妊または去勢手術1件につき、5千円を助成します。(県の制度と併用可)

■申請受付期間

9月1日(水)～12月28日(火)

※申請多数の場合は先着順で応募件数に達し次第、受付終了。

■手術実施期間

助成決定の連絡があった日～令和4年2月18日(金)

■申請方法

①助成を希望する人は、環境生活課窓口にて申請を行ってください。

■注意事項

- ・手術後、猫の耳をV字状にカットします。
- ②対象者決定後、申請した人に連絡します。
- ③指定の動物病院を予約し、手術を受けて支払いを済ませてください。
- ④請求書に必要な書類を添付して令和4年2月28日(月)までに菊池保健所環境衛生課内の協議会事務所に提出してください。
- ※詳細は受付時にお伝えします。
- ・手術後、猫の耳をV字状にカットします。
- (避妊去勢手術済みであることが分かるようになるため)
- ・手術内容が分かる明細を記載した領収書を動物病院などから受け取ってください。
- ・捕獲機は役場環境生活課で、貸し出しています。
- ・提出書類は返却しませんので、必要な場合は控えをご準備ください。



災害に備える 4 (最終回)

災害への備えは、よく「自助」「共助」「公助」の3つで表現されます。それぞれについて考えてみましょう。

自助

災害発生時に自分自身や家族の身を守ることです。事前の備えを充実させることで、災害発生時に落ち着いた行動を取ることができます。

- ①食料・水は最低3日分備えておきましょう。レトルト食品やペットボトルなどを用意し、期限が近づいたら新しいものと入れ替えます。特に食事に制限のある人は、自分に合うものを用意しておきましょう。
- ②マイタイムラインで災害時の行動を決めておきましょう。避難先や準備物を確認し、家族で共有しておきます。
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/92429.html>
- ③家具の固定や消火器の準備、家屋の修繕や家の周囲の片づけなどは、早目に行いましょう。

共助

地域や隣近所の人たちが協力して助け合うことです。阪神淡路大震災では、住民同士の救助活動により救助された人が数多くいました。地区ごとに自主防災組織も構成されています。お互いに声を掛け合いましょう。

公助

市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助や支援などです。避難所などの場所の確保や大規模な捜索・救命活動、道路の整備・復旧などが主な役割です。

「減災」に向けて

災害に備えて自助・共助・公助それぞれが役割を果たすことが、災害の被害を減らす「減災」につながります。これまでの連載を踏まえて、ご自身でできることから始めてみましょう。

■問い合わせ

危機管理防災課 防災安全係 ☎(232)2110



スプレー缶など(特定品目)の出し方にご注意ください

スプレー缶・カセットボンベは、特定品目として、不燃物回収の日に透明な袋に入れて、不燃物の袋(黄色)とは別に出してください。今年度から出し方のルールが変わり、昨年度のようにスプレー缶・カセットボンベを資源物A(空かん・空きびん)と一緒に出すことはできません。

R2年度まで

特定品目

廃乾電池・水銀体温計・水銀式血圧計

R3年度から

特定品目

廃乾電池・水銀体温計・水銀式血圧計に加えて、ボタン電池・ライター・チャッカマン・スプレー缶・カセットボンベ・練り朱肉が追加されました。

※塗料用のスプレー缶は収集できません。

特定品目の種類が、上記のとおり追加されました。スプレー缶・カセットボンベなどを誤って「資源物A」の日に出してしまった場合は、回収されずにごみステーションに残ったままになりますので、一度持ち帰り、再度正しく分別を行ってください。

■問い合わせ

環境生活課 ごみ減量推進係 ☎(232)2114

スプレー缶等(特定品目)の出し方

- ①廃乾電池
ボタン電池
- ②水銀体温計
水銀式血圧計
- ③ライター
チャッカマン
- ④スプレー缶
カセットボンベ
(塗料用除く)
- ⑤練り朱肉

上記の物は特定品目です。
不燃物の回収日に品目ごとに別々の透明な袋に入れて不燃物の袋とは別に出してください。